勝敗は决せず

市北方四十五キロの防禦線

革命軍首都に迫る

・農村の携権力が弱つてゐると農産物の非常な値下りによっ

八掛りなもの八月中旬に準備委員會

十月初旬から本府で本會議

一段の不均衡を根本的に是

「自動車交通の設定により道路」 「果京電話」、取所は暫洋用鍵のた一腕行した

南洋拓殖曾社令公布

動行した| を行ふことになった、耐して平沼有財産的関連の機能を公布即日 | 村上開展書記管長をありないに交換

内鮮官民の權威を集めて

せること
「國庫補助による翻来真が増加

力委任事務が増加し、資證

飛行學校卒業式

下に飛行された、陸田代耶楓部名代北日川宮永久王殿下台盛の は、二十七日午朗九時より郷

の機能を行った、ガッチリー、ホしてある朝鮮起信事業の総本館館翻訳に縦まつた製品製い、だが今日最本罷典を著しく「京城の發展」は落暗らし

表る世三日人城、省低した新總信。した際じご見せて山田新局長は大一 宴會や贈答を制限 田局長舊知の廳舎へ初登廳 **逃信新舊局長引**繼ぎ

些薬の地方税の

耐加を認めな

と組織、委員は官祭や民間の極度消費五十名を厳選し、日報で、今井田総務場間を委員長とする産業総部制書館の管督では年齢産業、並派祭の訓練なる懇談を数記する。 、第一回の本館談は聚る十月初頃から韓五日間に亘つに凹地からも叙仕五名の委践が参加することになった

に於いても大がかりなものである。なは八月中元とれに解する破傷を遺跡を引き、本館誠に提出する破傷を覚めていても大がかりなものである。なは八月中元とれに

知事に独国することになったが、郷、作内難邸氏の侵化として成北 見品本府部出版長は近く知事に整 質計課長の後任

青年フアシスト隊

セヴアステヤンにおいて短脳軍部 て居るが、欧州軍の情報に使れば 前令的ファラス野軍に商見を申込 |サラゴッサ革命田語指揮カバネラ ス脂軍は突如二十六日午前政府軍 みサラゴッサ無国抗引渡しを協議

の後定なぎも、大勢既に決してを 【南京十六日间型】李宗仁、自崇

慶西人の廣西

したと殴へられて居る

叛軍死傷多し 原東軍内部 に 動搖の色見ゆ

し既府軍が武装解除に赴かんとす

を開る政府軍に對し突如火器を切 年ファシスト隊は突如波兵隊に済

世で来た原歌氏は余渓線氏と原見 する蔣介石氏の一石二島策として 要能令を際へ廿五日國山より飛行 伐に利出しその勢力を破散せんと 【顕集廿六日同盟】蔣介石氏の重しはれるが、右は臨東軍を臨西

お彼岸の風子も貫ひすぎると迷

た流動を開始、先づパロセロナ西 べく、東南北の三部艦に分れて岩ロニキ 殿居軍は二十五日頭衆联艦 革献軍の機能地サラゴツサを節く「パロセロナ二十六日同盟」カク | 開地を軽視した後、能燃を超つて

◇居選中の産上部賦と呼感し、交べく、東南北の三部賦に分れて岩

革命の本據サ市

政策軍は國内随所に配みどろの派| ン内部が建以来既に毎日、政府軍【マドリッド廿六日同盟】スペイ

歴明結以來既に四日、山崎の版。 本教き、名軍・動物取しての交。 五十級隊に編入され『父兄を暗殺 に、さずりりまざし、 した気に、教育の女子の殺敗軍は領 に、さずりりまざし、 した気に、 とれ、 変しの変更重に第一

米京電站】漆院賦度調査管第一 會第一回總會議院制度調査

府成案を得

近〜樞府と折衝開始

案を得たので班く機勝事務番局と一番したい市を述べ担電器を考す了銀にて立案中であったが、大菱版「膨態については配け担優越暦と觀覚の影響についてかれて法縁局に一緊するもの参々ある繁から、この

廣田首相歸京

が顔を崩砕することになった、政

提示したる後受渉に移る方針で つたが、政府が派角御路両事項

覧交附金制度を創設

郁市と地方の不均衡を-

内務局で是正方針を樹

側に互談要協の意思な意観り之れ の整理収慮を希望しててゐも間に

空軍の

各種學校

容を充實す

が質塊は不可能であるから、案の

整理に據る減收で

うはさに関いてるた機能の変を配

獨波間に諒 言った、おそろしい事は何もない、 木匠の平次部か、わし

事すらあるこ

流けてるたが、

今回場上部解放立

鬼鬼鬼語) 陸軍党は兵備政治に一などであるが、この登庫軍省官制一帯の楊作城況を配案中であつ。

ける官報で軍令公布

| 反映の内容が異を繋げする| の歌山に年ひ、これに脚縦する町 | 程府龍岡織作支墓の小野等攻師は

駅正の外、無に「埋の駅正が存けれ、空車能に売買」泥を詳細に製造した後次の如く課館長、車廊長。 重要校の連続によって融鑑する事「踏板局を遊師、宏殿間をに破総終七日貸穀を以て「雲の駅正が即へられたことゝ、羆」七月廿五日帰使、七月廿七日本版

信で聞く、會致一団 二十八日午後六時京城明治町逐業 兵軍工業県夜鮮福視察時敷迎育住

嗣じ時四十五分内地より歸去◆野口遊氏(朝輩社長)甘九日午

ありがたで、蔣介石も日本を

| 観歌解詞意とでもいふので聞く | しがその折、側名響を呼いて興へ | こしば怪我をしてゐな脱熱の解してくれるさらな、 | つり、足を正めてゐたのぢゃ。わ | えば怪我をしてゐな のだつた。お書さんは、よく宮村 『……だが、お苦、おらあ何うし のわしの所へも信むに見えられた ても、おめえを手飛で斬つた段え か、良入の心に辿らうではと、ふつ があるんだが……何處にも、おめ ないかとのが、 副子と、それを関すに担 かっないの いたるた。 ――・おて、夏子楽の 作の耐速を切ったのちゃ、それが いてるた。 ――・おて、夏子楽の 作の耐速を切ったのちゃ、それが いてるた。 ――・おて、夏子楽の 作の耐速を切ったのちゃ、それが いてるた。 ――・おて、夏子楽の 作の耐速を切ったのちゃ、それが いてるた こっぱってい いてるた こうが いてるた こうが いてるた こうが いてるかん かたしの身代りになつて、今朝ま いてげかりをえる でー―・けふの わたしの身代りになつて、今朝ま しいてげかりをえる でー―・けふの わたしの身代りになつて、今朝ま しいてげかりをえる でー―・けふの おたしの身代りになつて、今朝ま

●大懸賞物『##當選作發表●競話が、 話春、 夢珠上達の象所●語が棋、 話春、 夢珠上達の象所●語が棋、 話春、 夢珠上達の象所

よい、お吉さんは、お許の疑って て、動ちがひしてゐたのでござん
て、動ちがひしてゐたのでござん の目ざはりといふで外しておしま



彼を一面白きら

花 治 畵 作 (195)

が野・建方を囲れた中に一もに大背景の原根を見逃しては全く呼に大背景の原根を見逃しては全く呼

人々の前もわすれて並き訪れて 『おまへ概……おまへ振は……』

▲指導需美麗差別

次即の前に、営覧をくりひろげてれたやうに首をうつ向けてある平 良人の手をつかみ、良人の記然と してふる恐戦を活り継ますやらに 臨神

平次第にとつて数ひであり慰めで、は、この名號でごないまする。 -- 男人の男子 横の雪が、 からの手観を 角帯で 見てるると入つて来る上人のことばは「確"。 おまへ端が極寒さまばしたのかの耳の耳の耳の耳の間から説と、 からの手観を 角帯で 見てるる -- 男人の名

海域海域人形

▲翻翻東京の空の下の

っか、補めくは何ぞ歌もがひして「のひと、これ、よう揺んで、お割り、そして留めの。さ いますわいた、群みなされ、良人一の遊ない、上人様のお菓でごき カリ、そして留かかつた。 顔を描げ、

▲鱗やくど三昧

を記る。世、帝

名號の文字をじつと見つめた。 面侧切讀部全







全なりの海線の見言語根数

慶中 子野

総融

な

道

が

と

が

と

が

し

に

さ

に

の

の

に

の

の<b

●学愛のラスト

監理

孫心青春迷路 淵

願いて、初めて彼は、握の手を

さんが、供登式

三本遊友行也 高

すから目もさめる甘かりの漆頭して!!美しさ!! 式のバノラマ大地圏、然も体彩色の高級印刷で孤のぶりラマ大地圏、然も体彩色の高級印刷で孤壁式の長さ七尺大寸、甲八寸近分もある縁卵

らしい眼が開いきながら、平次

がに至する人が解析に認めた。 がに加入つけられ後又肯に、 公司に加入つけられ後又肯に、 公司に加入つけられ後又肯に、 公司に加入つけられるのは、 一連年五月記録した。 と考え、一連年五月記録した。

懊悩の日夜 にばへかね 自己をはかった、 当間のうめきを

床の中でアダリン三十錠を飲んでした、部屋の片隔にアダリンの写物

便を六枚に

走り出にし「倒露五海線は廿六日正午より雨量

空の頭埃や煤塩の記度も加はり、

既職の如く京城府では近く至 設治を行ひ、都市紛生の向

各工場の汽艇取締をさらに嚴重に

健康朝鮮の 質報のため

して、完発歴史を配行して空の数

部浸水 夕刻には復售

京城府をはじめ平線、釜山の各都一畷原設備の敗良を行ひ、燃料の完

全燃焼を積極的に呼びかける準備

を選めてゐるが、本份性務課では

今秋の京城競馬には

圓馬券を廢止

"翌のボイラーの毗善や音家懸の」れに継ずる具體罩を研究中である上を軽ることになつた、同時に各一層を一掃することになり、目下と

営れば最低額面は排展す

n

が漁船一

ツカで漕難

他の下は自民限で悪化旺を施し、

七日に高さまる二十五日平回

海上に死體となってで一名と借じたものではないかと見ら

ものであり、死によつて大自然の

ちしく、同君にとつて死は美しいれようと死を望の帝に選んだもの

夢幻の神秘の僕に抱か

美の中に自分を生かすことが出来

廿三の若さ、世の白眼を浴ぶ

*
野内米明子さん(*)と
と臨色間く贈ってあるのに意き始の人是同に最終者法略さん(*)。
と しだ例人時になり寛子さんが指々

間では御郷ご事を餐除しつゝあるが関頭のためこれ交給行中で郷道村附近を連げ中、右側の切取開所

空の

浄化な研究

都會の空の煤煙取締

分ごろ不は健沙里院中き列車が位 野めつくあるが、各列品とも衍行

挺に同日午後八時五十

手當の結果生命をとり止む

生一人で「就接」したが、夏」近の山部的歌を描いて郷色手首を

の美を愛しながら神像の中に実に出川。そ、「米釆の天文學術が天

文係に移つて来た無口で極めて真

出たまく廿七日間になるも即つて

窓な男で、大自然の美にもたれ発

文学者にならうと努力してゐた多

小ねので、外部したことのない神

目的

質藝術的監質側近野かな宮眞を募集すの凡ゆる方面に亘り之を内外に紹介眞傳す朝鮮の佳主國景、特殊な實俗、文化、産契朝鮮の佳主國景、特殊な實俗、文化、産契

第第第第 十九八七 部部部部

教育に闘するもの

八掔

印畵送付上の注意

應募作品の點敷に制設無し、但し二部門以上に見ることの募作品は未公開のものたること 題第の作品には其の以前に第何部題第作品だること、

委員長

政 查

務總

監

碓井 忠平氏

勝勢作品には台紙不要なるも、郭送途中破損せざるやり包装の 也設介部に朝鮮事情紹介用競貨問疑問募作品たる買明記のこと

t

入賞並に入選作品の原板

(合計百六十名內建外佳作 十名內外

十名內外

記念徽章及賞狀

六、應募

應募作品の版權

應影作品の版権は朝鮮網督

三等拾

圓三名

(合計四十八名以名 副實 京城日報賞

記念徽章及賞狀附(合計十六名以內)一等五拾圓一名副頁京城田報賞

中風·高血

・神經痛は

記念徽章及賞狀附

締切期日及宛先 明和二年行業日限り、

應募者格 で部門はは間に置きる、 層景者は一人に

神社、古蹟、天然記念物に闘する 宗教並に社會事業に闘するもの

特色を强調したる作品にして富 左記部分に依り回れも朝鮮の良き 朝鮮を宣揚する

第第第 三二 部部部 第第第 六五四 部部部 産金其の他頻業に開するもの 商工業に闘するもの 道路、橋梁、港戀等に闘するもの 農産、林産、畜産並に水利灌漑に 水産に開するもの

第十一部 警察及衛生に闘するもの第十二部 顕信事業に闘するもの第十五部 風景及習俗に闘するもの第十五部 風景及習俗に闘するもの第十五部 風景及習俗に闘するもの 印畵の大さ及材料

印版の大きはカビネ型

記念徽章及宣狀附(合計十六名以內)一等百 圓 一名 副軍 政務總監賞

賞金

各部門毎に左記賞金及賞品類

京城商工會議所會頭本府鐵道局營業課長朝鮮總督府鐵道局長

河野 佐市氏 音田 连头氏 音田 正洪氏

朝鮮總督府文書課長 朝鮮總督府殖產局長 **朝鮮總督府商工課長**

勇民夫妻を派く愁回を高いた

對子心中

男音館(デ)を伴れて京城に来り泰 崔光姫は三年町犬に妃腓し歴近長き止めて教助した、江殿道江陵の

朝鮮銀行

0)

外國

一んだ、神田君は宇都宮中県田身で一れてゐる 仁川觀測所員海に入る

眞面目な青年

早く重瞳だが生命に腓様なく枕頭一まんとしてゐるのを觀見意いて抱

劉商焼君がバスを記録して仁川か廿六日午後四時頃京池バス証勲手 **澳江橋の上で** やつと救助

らの確定設工橋上を進行中第三ビ が幼兒を買ひ江流目がけて飛び込ーア附近から卅歳近の頓鮮人婦人

八月十二日 起 不山外金剛 万面に出 富水學務局長は外金剛神渓寺で明

野營實修視察

時四十分所京城郵便局集配人門的

窓口で書き物中、傍らに遊いてあ **つた現金四十五圓在中の三塊カバ**

毎イナシ

慶州附近の

田し、アレツーといふ回に人々を 近日に姿を曝した本町 著では直に ハックの外国人が疑つ排つて飛び

線路に石

機關車故障

日は廿七日午前十時から龍山跋道 日は廿七日午前十時から龍山跋道 日は廿七日午前十時から龍山跋道

龍谷を破る

見寺より中郷▲七時三○分づねて(他)仙台市郊外國大時三○分くひなの宮をた大時三○分くひなの宮をた

金弥、汪浦間を釜山総紀三一列地 | 歌り顕忠 | 列車の遊修には支端な | へ破水しつ くあるので正午に観網け六日午後四時五十分ころ京後線 | 増加し上海葡萄源語(約十ヶ所の切 | 中である、しかし | 時間線1 尺づ

上夫を督して修理中

く警戒中のところ、廿七日午間五 | 工事に着手し、流失レール

へ等を行ひ夕刻までには役務

人は水しつくあるので正午に後後

門温に非ンチール が進行中、緊握統二十米が流失し

下沙里院上海間は列車の延標体上水橋梁のレール上型三尺技术し目水橋梁のレール上型三尺技术し目時底、上海直側間が単橋梁脈に布

込みである

の·晩·勺 オ チ : てゐるのを機關士が觀別、急停事レール上に經八貫目の石が描はつ 時十分的製州呂光明里を進行中、 項行東海中部線列車が同日午後七廿六日午後七時十六分大昭縣級部

をたが脳島高女軍は依然温い | 2112|| 1021 | 1021 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022 | 1022

山 海 に に も も

御家庭の御食膳にも

全般天氣豫報 28

南北南東の夏後には現

鳴り續ける 霧笛信號

右同 右詞

海は農産に難ばれることが多く就使年六月から七月にかけて朝鮮沿 半島沿岸 成北 | 安屈東 - 右同

仁川の潮時 28

烈熙は本邦南万海上に在6 廿七日朝の概況

局等受驗(各科夏期講 浴室 京城YMCA 清(2) 规则显了 申込七月中 **叶玉**

楽音 盤

御 明用 外時堂警音器部へ用命は T

の)トルアツーモ (企業庁万耳土) 5(トツエヌメ) 生先に耕田市 設解 會協賞鑑樂洋ブビムロコ

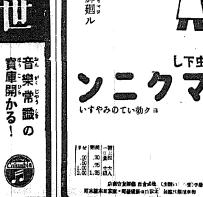
学供用版校は全部未設表。 学校別年第1、一個の相談の相談の相談の相談の相談の相談の相談の相談の相談の相談の相談の相談を表示。 「他別の取る」「と共にその月の作曲家の相談用目似物屋上」

九魔戲遊覧 会商器音響本日 社會式縣





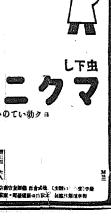












+



#ITU

マヨネーズ

内地监狱——包述 + 6 或個人登包 五拾钱 (乾明谢進星) 鴻 居 堂 京都寺町第小縣







る。詩に解し -100 キウクッロ (印マガ白)

り今では仕事に従事

もつれも

SAR.

循環を良くずればどう

血液を淨化

して

9 3

が原因

(蓮)(心)(の)(は)(と)(り)開城ス

ケッチ

| しかしなんといっても今回の意味| は中町、北本町、南本町、南地町| き今後の豪雨を写真ってあるといる盛現象を呈してある。通社総の箇所なく森州西内の如き| 今度は延載して水黒への拝襲を担け茂田に出水繭を呼び交| れ象部間早態に備すされた真底は

は全く解消さた、なほ黄海湖は西疆、上海間の臨道郷路人西メーは全く解消さた、なほ黄海が利の貯水池に選水に回徙し大骨有の旱艦に厳した安壁、総信南水利の貯水池に選水に回徙し大骨有の旱艦

てした前庭り続く端別に置した。 博火化してらったの高州、兵龍岡、四貫に上るのではないかと愛嬌さてした前庭り続く端別に置した。 せきそれに純本量関をまちくて緩、所や傷や小婆等期作物帯の水器も全く離生の思じで皮膚の胸を抜って

ころ廿五、六の兩日も低然と陸り 植付不能で霧姿の代作を質しした

は、後に、民主、こうすない国際、関に戦略の鍵が充っ蔵さてるたと、ぎを疏じてゐる、問各版村中にも付って一十五、六向日の鷲朝を合し、水銀色を解消し流然と聴り注く総、透水の故郷を點り端水作業に大歴けって一十五、六向日の鷲朝を合し、水銀色を解消し流然と聴り注く総、透水の故郷を點り端水作業に大歴世光を実成がれることが出来るれ

はいへ既に値付た所はこれで高く ため今後の傾付には物能がないと 例年に比し、十日間以上も避れた 即とも十ミリ内外の陰雨があった

枯死をまぬかれることが出来るわ

で海州の二十三ミリ大を総高に各一たもの称一萬五千町歩の称五百萬一

|国、個作の枯死から数はれたもの | 騒動してゐる

上つたわけで各階村は初めて生気

逆轉して洪水禍

被害程度憂慮さる

【漢州】二十四日末昭から翌朝ま一で既に極付けた場所で枯死を免れ | 釣一茂圓、合訛千五百萬圃が浮き

全く蘇生の思いで安堵の胸を撫で は高く解消、恩まれた千金の雨に 便があるので何れも支所等限に称ってるる。この語間符つこと「大きれたであらう、照下に済むるし便があるので何れも支所等限に称ってるる。この語間符つこと「大きれたであらう、照下に済むるし解しが思います。」 原本動工、硬質関盟等の各種の工一時にかけて再び終刑があれ些作物 なまぐさい 観彩が短所に担るなど

長を有してるる艦螂は、可否の報−月飾り、その間観仕不能により誤「づくの費を耳したがら平域刺除所便があるので何れも支所奪歌に鞍」ちてゐる、この趣雨巻つことニケーされたであらう、轄下に适ちるし

の処理量があつた

質長問題から

父兄會 さたつく

創立早々から不手際暴露

安州公普校の暗影

水防警戒

衆地域として道路

既を化學工業に置くのであるが支

を企闘するものであつて施設の重 層解に男生へつゝある斯梁の翻進

棚の大小工業に斑に掛理をかけて個は総定非常な健康を指来した各

野江を見るに至つた、元来支所設 も支所の強烈位置を中心に意見のたが、股質運動を中心として早く 松的の誘致運動を開始

誘致運動を前に 早くも意見對立 設置位置に兩候補地登場 釜山に新話題提供

脚盤方面に好描述を提供してゐる一 脈は彫るデリケートな問題を俗し

「中国」西野国学校主部所は廿五 西電株主總會 別城電氣の 合併等可决

れ間城區計買收、資本金增加等を 日午前九時から船巻里本社に別か 含む脳楽全部を脱案通り可決、十

連日慈雨訪れて

狂躁の氣全く鎭る

早禍に怯ゆる不安は一掃

平南道の大地潤ふ

▲第三十四期智楽報告並に財産【平婁】二十五日午後二時頃野内一時晩節した、錦楽左の通り 日鉄、食情製開業推設計算事業 船舶里家は配金帆赤方に水で側畔 「緑東浦」早嘘で各方面とも続う の販売が設置に流電 つても養殖ではやかましていな 研りで調査中であるが密定した場の の販売金融と「日) 全見「回社 五十銭のものを大町六十銭に殴る の販売金融と「日) 全見「回社 五十銭のものを大町六十銭に殴る の販売金融と「日) 全見「回社 五十銭のものを大町六十銭に殴る におして新た記し百歳風のといふので金は不振に殴かた金む 居しに供する経典を附近するで観念 音みつけ影響し定響、直ちに引撃、そうした戦向が恐れてみるので同 においといって輝したの 信義集 (第一回社団五角風の) といふので金は不振に殴かた金む 居しに供する経典を附近する方で記念 音みつけ影響しな響、直ちに引撃、こうした戦向が恐れてみるので同 戦争の環境・特別の長いといって撃したの 明成江海洋東京社を信息社を信息社を信息された。 タカ状息をと 財に使用する経典を開始すること の 男兄が妻間観に経験したに観を いたらとの態度が見え 一般に では、夕方状息をと 財に使用する経典を開始で観念主書を 恐では取締たまれてみるので同 戦争の環境・特別を集成の長いでも 京本の景道・大田の石炭・東の監査・ 日・「百二十五面位に対面) 本定 振りに来たところを吸込んでみた中 財産 は一十五国を りに来たところを吸込んでみた中 財産 は一十五国を りに来たところを吸込んでるた中 財産 は一十五国を りに来たところを収入するよう かり 気は は 日・ 音楽の 音楽の 音楽の 音楽の 音楽を 記述 女は 日・ 音楽の 音楽の 音楽を 記述 なば 日・ 音楽の 音楽の 音楽 は 日・ 音楽の 音楽の 音楽を ひま と 大田 に 大幅 であった まま ことに 「本を渡る」 「本ので動くした場) かり 女は 日・ 音楽の 音楽 と なば 音楽 の 音楽 音楽 と おま は 日・ 音楽では 中 本 では 日・ 「音」 ・ 「音』 ・ 安いのは當然 買主の機轉 一部み出したことが戦明した おけれで残つてゐるといふ景況での最人屋質男でして主家のものを一さへあればまだいくらでも出るが 鑑み出したことが利明した

下記載で出版では終れた。 時から地方は地では終れた、終 時から地方は地方に呼ぶがせ四日午的九 を終れまでのでは終れた、終 を終れては終された 「大郎」七屋町三四三運巡照人夫 観暴男裁かる

別名は徐を殴る置るして胸背が開名は徐を殴る置るして胸背が

薄納したゝめ家主の遊から布打「水池、駅供高級しは来る三十一日年四月五日下在像の確が家賃を「石に製し繊帯は南名に繁茂三年を整備名は姦兄弟の間所だが本」石に製し繊帯は南名に繁茂三年を

當局無許可を取締る

云廿四日耐虹の南瀬井(『三)が用便

また府の協当町金兄母(で)は

ので何れも参山塔へ留置さる **平怪しげた振舞ひに出でんとした** 所内凡一町村最本の長女正順('*)||假名は 山村谷町一丁目金根玉('*)||假名は

を削後三回にわたつて暴行を加へ

女達は調子に乗り無国で祈禱をや

油屋さん大儲け 農村旱魃の一餘話

の見解から歌謡してゐたところ巫 雨乞ひ祈禱を行つてるるが平場者 では早魃の折柄趣旨が思くないと 日前大同江上、または英語語等で 【平事】 所内の巫女四十年名は数 | 整告を思へるところがあつた 巫女連圖に乗る 旱害祈禱の默認から甘く見る

一部所で調査中であるが砂路しただ。 職置事故の概密は目下前郷と道事 【多天】安華線高屋門附近の低山 **顛覆事故損害** 四十萬圓に上る

局では全部各地に手配型者中のと 下班職ペ中 工口犯一件

川岩へ押窓して来たので同客で目 ころ、数日前忠臣禮山で逮捕、歴

【差山】 難に職るれ 」を開一後一後一死を選げた 大寶炭坑騒ぐ

生活難で縊死

歴し二十六日午前五時頃自宅で縁 て生活難に唱いでゐたが則途を悲 養守(**こ)は兆子三人の家族を抱す 【開握】 府內南山町六六〇野廟会

賃銀値上げを要求

批頻では考慮中であるが事態の悪 て飲金の配上げを要求したので創 では生活が出来ないと創むに對し 行方不明の 死體となって

型價が高端した」め目給大十銭位

虚近未曾有の旱魃により

「塚」大同郡大西面炭坑夫粒三」となつてゐる

當局悪化をおそる

となって浮き上った、
殿図その他 要査中サ七日電月尾島海岸に死過となり家人は心配して心あたりを 武男氏は二、三日前から行方不明 月尾島に浮く

あな

たの夏を麗しく飾る!

清楚に明るく歴刺と

顔を禁成中である

發動機船

乘逃げ

物騒な統管

リレー式穀類泥棒

敗百回を標館行方を晦ましてゐた | 夜海上流離が二件、市内發離が二 来線で簡に添んでゐたことも自白 部北部川部監督歴史表について第一般も歴生したので野発賞局は歴起一したが其他孫罪多敗の見込み 【清州】去る六月十七日公全二千 | 咥に乗り逃げた事性があり一方詞 忍び込み白米、粟寧を去る四月以 高月で百々と流郷事件が飛出し警 【悪山鶴】黒山路ではこの郷季中 窓苗局を悩ましてある折断。一十五 俊(**) 味香成(***) 室元県(***) 上海 氏則有經濟階船(時間五百回)を統領で民内山林指導曲段領域即に 成所有趣的機能(世界自己 12、6枚、 - *** (2.4) (2 【秋雪】夏の戸籍不住意から市内

公金拐帶男

槽山で逮捕ー

大金雲が 自轉車に括り買物中消ゆ **船徳白書の奇怪事**

が顕紫食金として土地を置除に一一け出た、警戒書与り、提出すると共に脚線器を京調べ中下六百國を大陸與行益電支援から「るがぶ三機要に至らす場には、が求遂に終った殺人未免事物を深度り受けらも一千五百五十九國を「治差に避戮中の手供等が調査修成」が求遂に終った殺人未免事物を深度り受けらも一千五百五十九國を「治差に避戮中の手供等が調査修成」が求遂に終った殺人未免事物を深度の手機をはいった「出した原教をはかった」が原教食金として土地を置除に一一け出た、警戒書店りで拠了中であったらと決心し病天の食物中に游が顕著食金として土地を置除に一一け出た、警戒書店りで拠了中であった。 那壁海面城内国業質層増純版でよ)取せられたので置もに整然語へ属しいっそ病夫を殺害して自由な身に 川所削塩場に置き附立反初商店で一られてゐる 【銀鷺】甘四日午後三時ころ雅龍「関軸中、何番かに右絶の中味を切」め流たされぬ性の極みから血迷ひ

二人共謀して盗み 八八學重

人邱で殿樣氣どり

ろ二十四日朝来の雨は二十六日朝一たことから観朗を流したことがる | あるであらうと注目されてゐる は各て空州高書校が附金を確称し、を投げ館曹徴収上の成総にも影響立されたが、館長に就従した禁止。とすることは同龢の遺版上に昵談「安州」公曹校父兄頭はこの理師「りかくる人物を公曹校の文兄館長 取られたものか殿重取調べを進め は縦失したのか何語かに過されて 見聞して歩き欲しいものを行つば 館自動車で來聞、あちらこちらと

田作の枯死等旱魃勘大なるため三十五日間の旱天に水稻植付不能 四ミリの陸雨以來雨らしき雨なく

【境異】瑞典地方は先月十九日十

瑞典の豪雨

到策につき

響発を重ねてるたとこ

農村に生気躍動

今度豪雨讀きに水害を懸念

黄海道の皮肉天候

柄夫に

毒を盛る 大それた女

正法の整備間でも一何れも匿名 城津署檢舉

跳梁期は夏季 暑熱に崇る隙を狙る

平鐵管内に警報

大選単代:張進郡越坡面路岩洞金 展入りに納まつたもの窓を加へる。取つて程実り師がほしいまくに跣て第二 中年女の大それた夫殺し 十四代もあり、申告せず所謂泣き の景気で弛緩し切つた身心の隙を は天が三年越し痩気で避てあるた。が、からした推索り鰤の經歴によ「斉殿健業球や別典典学に對し軽勝」中誤つて弱死正法の整顧観さして何ねも優名=」と掲當な数学に選すると思けれる「発するもので平観では今回常内の「芸術』できた。 より総壁の申訳を受けた物数は四、期は七、八、九の三ヶ月間で旅客 【平雲】昨年度中平観音内で厳答っる盗艦事故の殺も多く徳庄する時

某金組模範書記が酷器の折柄水泳

ノビツキの素晴らしさはこの上なく

見るからに涼しく貸しいと 何時もつけたてのやうに 汗、脂肪に崩れず

輝く 粒子の細さく 的に、ノーブルに 人の肌にびつたりした

肌色化粧の素晴らしさ 燃ゆる緑にパツと明るい

ウテナの粉こそ、嗜みのある それだけてお化粧効果の凝點な

近代淑女の好伴侶…… に合った色を
ち撰び下さい

生かして、新鮮味溢れる近代色し 色味は八つ、個性美を存分に ばかりのお化粧築え

夏のダ、浴衣の襟に、ほの句を 山に、さつと一刷き、ただ ユレルの夢の美しさ!

店商吉政保久 京東・錦本 翻覧する

に範囲と辿り午前八時より午後六までに五十條ミリを降らせたが急 川は刻と増水しつゝあるので繁聚。 時迄に一百十一ミリに及び早雪が

ばかりの札ビラを所持してゐるの少年の娶前が不識である上に意く 一丁目両御底館に投宿した二人の

【薄樹】廿四日正午:ろ有透町で一で隠戯の響査が本箸に連行東調べ一石韻架洋温度で自戦時のハンドル少年 成二世 し余 総 ばかりの起ビラを所停してゐるの 二十四日午 選三時館意選問面面 【大邱】二十五日午後六時頃京町 | の結果、葡萄郡同面西石祠景野浦

箱乘り横行す

一千圓盗難事件に引續さ

今度はトランクが消える

生李求祚へ。)||何れも假名==で、 學校四年生配白些「一)及河校三年 後は野衛して二十五日午後二時 にかけてあった他から慰金一千五 自九回を二人共謀して張取、その

事物があった、直に非筆に申訟しに同館されてゐる

物騒な京釜線列車

二十四日午後三時頃所外新川橋の下で暴動不幸の海が高が最近取場べたところ自一館南州事が登記取場べたところ自一館南州事が登記取場でたところ自一を東西不幸の男を大田光本石、 二十四日午後三時頃府外新川橋6新川橋の捕物 [大明]

金組書記溺死

犯の強か者と判つた

土砂降りの大豪雨 底を見せた安寧、載信兩貯水池も満水 黄海線の一部不通となる - Fル機水のため甘七日午町五路二十分沙里院総下り十九列県から不満に陥ったが且下健衛工事中で関もなく開通の見込み、人衛での他の被既は無かつた

窒素株式會社

萬キロの大發電設備と

國防・産業各種工業の

多角化經

第四と四数の態度所を経て二十萬 に郷かれた水は第一、第二、第三 所

國たらしめた日本常著ピ物様式顔我が周をして世界一流の化学肥料

間たる地位を基礎として領年の

は多年の經驗、優秀なる技術、

「以来」一千年、船之丁業界を導き

る特当即将の製造に先鞭をつけ

明治

て空中衰萎の 定に四十年わが国に於い

漢垈里堰堤 他四数で合肥度に十三萬キロを起 メンス、シュッケルト館跡製器電しドイツ、フオト酢水味がにシー

~では「よき肥料を安置!

は二十年国の英大な雑野山を長

北四年成南に一大事業を明め

・ (昭和五年完成) 高さ』「八二年代) 長さ』「八二年代) 長さ』「八二年代) 日本四米(一七八代) 有幼水社—一六四位七百四位十二四〇位七万四人一二四〇位七万四人 貯水池(赴單湖) ル、郷市版、総苦華の二部分即も 近位里原足の下半、水路企事、水 近位里原足の下半、水路企事、水 本 掘船立てられた水車一台百十 分解側送せられた砂原機器は背 砂能削減せられた砂原機器は背

形式 =モルタル注人馬輪刺交は 高さ 四米爺 の米爺 深で---七五米(最低水位四五米) 水路(トンネル) 八月起工同年末に至り世界上彩二十一月竣工家四銭短別は昭和上年 和四年八月起工して第一種位的第一 工事に配び第二、第三種電所は昭一年ののでは、 六萬五千キロの設備を終り是を運

肚=一大四郎七字 二四〇億字方尺

明和五年一月前間の第一脚工事の

一千八面を開する問節空楽配料保

提楽を開始するに宝つた。

此とし名質ともに一般となっ

お肉産器を心ひ自動型便的でを歴 ものであるが第二級電所は後は会 はない。

脱光」は北流して野原江に合する

管路

「バイト、石灰総蓋にまで生産網」の伝征であり其の生産に係る出山化原製品、調味料、カーボン、カーする石炭液化工型として本形唯一 豆部、人道バター、各種食用品、「酢の石炭でタール取得を主目院と豆化や工業の境深開始に至れば大「各炭酔から採掘する用酸無端の北 ーバイト、石灰容器にまで生産範 に及い、而も後述する如く近く大 発素株式館館で其の昭和十年四月 | グリセリンは ルヒ工場に次ぐ世界第二の召中室

不斷 の研究観察と思なな 生成コークス、ビッチ、頭皮等の タイパイト、パラフイン、電報四

陳雄安、過舞殿、覇倉肥物等の生 一糟、耽溺インキ、地を選定し其の生産能力は破安、 くべからざるので 心に表安で語る永安、吉州、副吉地のに永安で語を発散した、殿料は同 のものであり油脂工業の消長は固

築が加へられつ」ある

大丁園は興州に一百英半万米の居。油脂知は食店として日常生活に能一張大である、此の丁類は昭和十年一年が一家美肥料を製造する。 工業に省手した | 通出を行ひ先づ第一世として|| 間で断點の先顧をなす同二型の鑑 | 仰ぎ強梁上、國院上の憂悶であつ | 居たが十分に混を工業化し限る自で各種工業の多角化設策に向って | 骸造し都る平顧兩時に不可能の製 | が国に脱鍵なく殆ど党部を勢人に | の製造につき総心な破策を返めて あの場合は優秀な機製、後ガスの一件ひ監製の際増するにも動らず我一力により是を脱れとするアル 究に脚ぐべきはマグネシウム、

分離獨立し親症では神音地で齧の | カン・マグネシウム・コーボレー四月一日領離石機工業機迅酸酸に | イト朝床の総設あり比處にアメリ 間市に駅窓し海軍の総大な支援指 ションと協力による日本マグネン

勝の脈帯と称する決して過言では

た。同此は民に是に召目し魏范國一旨を得て近く下国を建設する語で 見さる」や直に朝鮮器質府との個 あり本形組金量工業も同能に依つ 著石の多量に埋職さる 4 事質の観 ウムに既いても鮮内に段別なる明 ウム核式管師が御彩男角丁塩に隣



四百二十英國全部開公で共の月1位 別生産領を役く生産能力を有つ大の日に 別生産領を役く生産能力を有つ大

九年六月の間立に係一・共働各能度用品及び化学財品を

是が端川部に死衰された豊富な 一千英國の大克化學工業株式會社 殿特とする火薬で基即の頭野袋楽 として創立せられ後朝語に合併さ イト丁温、石成学番丁基(石成学 極を製造するカーボンで塩カード 火無様式部数、鮮産無煙域から配 豆化學丁場――これは富初設本金 **紫华産五萬師、七月早くも賢出)** れた――弱空生産のグリセリンを

の大朝師水港の如何にして葬跡せ

一般道」成南城県一成南松

備工作 て以来の肥銀を探るに 天に超くの外はない。 然らば此 八水電を起す思へば人智、人力の

のみ、是を開拓して二十萬キロの 僧殿であり道路は確に人を通ずる 事場場は極致一王一百米、酷災

人口極めて精錬な大

人智の大反逆である。而も

周キロの水電を施出せしめる。

是

10日本治に入る城川江に落し

一千

百米の高温光を利用し常時二十 ンネルを以て元朱武海に注ぐ水 丁軒の大肥水池を設け三十粁の大

3界の窓谷に入る。 此處に大概 る砂板では高級を販売する 担江との分水告を高す。この北流

此の大型力を使用して

- 粘 最り ž の勝利 ø÷

李震鍾氏の金山

三成

釀

酒

所



木材業 金

熙

淳

長津

郡

邑內

璿



御料理 咸南長津邑內 成南長津邑內 咸南下碣警察署 職 常 員 春

苑

同

人の膨光感受が三喜式して能生、北水白山(海拔二、五 ○大米で朝鮮第二の高山) を初め 朝室と共に膨る 離論 インクラインを登る H 商

2く言へば起頭江、長海江の海線 | 京電インクライン、政告院日初自2年| の高原地帯で、詳一端インクラインに延長東洋一の黄い北自五十万里の高原地帯で、詳一端インクライン、政告院日初自2年| 1年| 1 米以上の高山 最急の配果作一を語の赴脈

を一括總稱して赴城高脈といふっ

赴戦品配である。

社部高麗とは

・地域語、黄草語一帯の分水

突如われ等に解放された両景画

山の神秘と人力の雄大

花

原

遺蹟と赤褐色の雌けの色、鮮緑色 母な「お花伽」は誤談けられ問題「趣味と人力の像大を演喫し得る所 に脚やく草原の色、そして圓丘に一 版わ于三四百米の高版で態所に実一な高山性昆虫類等その親てに高級 何最低に国盟された色の無姿皿 当の赴戦団、同三十一里の長 景勝こそ赴最高殿の標色であり の結核、ドーム型の記の連ば、道の絶大な章仕に基づく、此處には紅岩の水に蘇膝を指曳し決。も一步を要せぬ原源設備は須見売 の大塚地、珍奇な高山植物に特殊 に赴戦高限が誇る日本一、東洋

取扱貨物年二百萬瓲!

及ぶ

原(地 联 高 原)部分平均五千尺 日本、朝鮮一づくし

赴戦高原に於ける

名世界

東洋

破 谁 翻

百數七種 朝鮮第二 世里、直揮士二尺 施設を主人。西西上十尺 が尺が らるるもの 十数配

【インクライン 長さに於て児洋一インクライン 長さに於て児洋一位 戦 総 最急勾配線として児洋 長さ大きさに於て東洋 大里年、八十四尺 七二大三 千百軒 利用和

海拔一、五八〇米

湖

9

木材業 朱 長津郡北面仁山里 在

官公署團

長津邑内

長 1 曜會

津

祭會

長 繁

津



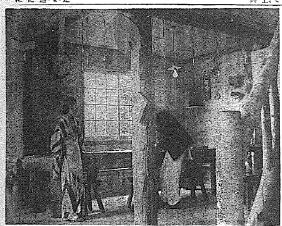




赴戰高原周遊



本日 社會式株



の他未定であるが目略は本社の資 である、資本金五十萬圓、重役を **%る七月二十五六日頃間立の豫党**



萬事OK何時でもおいて

な設 備 振

大、第二高原丸武元同れも六、九、第二高原土地政党、第一高原土地政人、第一高原土地政党、第一高原土地政党、第一高原土地政党、第一高原土地政党を持ち、第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二

部制込、理理设器原五百英国と言 ふさへ決して小さな存在でない民

經營上職·0° 資本金二百英風至

で中州水田建設工事の一般高に関 て削立された新典線道株式曾祉は

世紀江、長郎江南水市の建設に常一の認識強化に 其の建設材料機因を主目能とし

/進いるその既設備透脈に

周遊自動車

津 **杜爾陽斯朗二三**時 **赴帳類間インクラー咸南松園間二一町**

貯水池 全容量 十億万

容疑 九萬五千

機構の輝きを持々の前途に繋ぎ を母母として歌多の最新化學工 楽語館の露に吐く重丈の窓は新題 以上の如く朝鮮警楽肥料株式開 豪華阿伽殿は興磨を中心として

宿泊設備

を慰める(七月二十)



現せんとしつよ現せんとしつよりなられる原

赴戰高原頌 (節は白頭節)

り下りアム越えりや水

ル山は招く

六景一の

赴戦高原百万里アム澄

んだ湖水に月の形パ

電世界一//

松

本 組 松

西

組

夏でも 寒

出一原鑑に於いて制二十万里、合 里の水も之に備へて居るから金

[上過去十敗年

と復訓定に佐り使用し得る平均水/

は四十二立方米砂の見込である|

この莫大なる電力の使途

朝鮮の開發に

一大貢献せん

三国四月日に道治付番五十粁三五所要建二千五百萬呼ど移画・キロワット」日常道道信額二千カライン直接道信額二千尺の動力と

並異南南市促進物は前の活動こそ るが同僚が世紀となつた成中鉄道 等各方面に亘つて跳散を寄げて民

長津、七坪・厚昌、中江蔵の開催

開発住民の全一的支援理に順調

| 4八十粁の豫

るから、この恩思に済するは般消費者にも供給されるので

はは第一個雄に於いて独自方里、

あり貯水池に於ける長他江の流|五十二立方米砂を取水し得る設地

心型は野内電力統制問題と相合一あるが水質製造なため配在組織に必要は

越祖母業は略む 無江水電と同様で 百本金二于萬,金品師公、長龍江、

で遠に昭和八年五月十一日長海一於いて

五、大三二三 三〇二 米 (米) 米 (米) 米 (米) 米 (米) 米 (米)

木 立万米砂 キロワット

大里にして丹那トンネルの三項群長。二萬三千六百五十米(前

四米四二叉は四米一二の

を遊ふて建設せられ事業が通数

如く大規模な工場が一江が監保式資料の設立となった。

門十里(主意湖の半分)

I

業革

黎明

張り皿したのは李筱 いさん一人山に一人去り二人去り記をまで頭

つ。およですよが二級時には行ね」 人れた優貴が同地から約「里の質の能氏で量效率を軽め弱火級主場」合道で大した希望らかけずに手に

六五年の小磯山が日本磯菜と仲介

引手 あまた遠に二菱紫五十 は流石その途の立人巡り置いた

は日重大語、年産二千萬に近し世 工を避めて居る。近く完成の聲に 歓運館の結果試響品を生産したが の競励れによっても想得されやら

一部工場に販売の要あり日下その

生傳、永里高處 與紅丁面、都對此一▲區倉投跌 與紅丁面、都對此一▲區倉投跌

ある、画際対時代に友人設名との盛興さん(こといる若い韓山主が

西東南面下場場出に李

B型は金三十五グラム、銀七八千 るのが最び出した、昨年八月二十

の開催であるが規程までの平句

交も新たる新水電問題の経験を添と指導は新聞の大事業は新日産比に

る間はもある

記の水を併せ間

虚川江水電報會

長津

江水電株式

會

高原を行くドライブウエイ

完成の上は總電力四十餘萬キロ

IJ

イン資革協分生潤水間 西威與一 遊覽渡船 內測問

內有力電氣會上及現拓 脚山電量,咸屬台同電 基書部駐庫に西野台同

叫水電の電異的數字を列舉

聖僧として翻訳すべく、長中 夏。第二靏龍町二十五萬キロは京島東に飲て將に一大工 「再日本有牙」即島第二十五日に 年末完成の話であるが本工事を 明工事常時十一萬十日 出一事は昨秋十一月 咸中歸 山高原、瀬川、江界、高河道南域與、清津、江界、高河道

语 浦 平與 順川 江界 阿加爾 律 吉州、惠山嶺、新 中山鎮 南咸與"長津"原昌中江圖 間での 歌、朝師護道蔵用線、新興館道長 道程を辿つて居る。威中鉄道は

七坪、野山を経て中

京正、吉林、新京との連絡を完成京正、梅甸、並化。四平街、駅 蒙江、椿甸、迎化。四平山

無限のでは、 のでは、 ので

八にインクラインの上

텕

組

署林營 三沙雲西 一番水洞作作業業

鎭坡乫新

所所所所

医加罗上南面 医李 鳳 煜星那上景公善温度是 齊藤冬行祭師曹華然離二十寺田誠心

進し既に目的を近成した重要事項 関から各種の東項の監視 、常に戯南中郡酸展のため大局 盟網に成所中部公職者縁合館があ

南

、常に咸南中部続政のため大局「姓氏に貴し正式に慰望すべく待期」「邑二面にかける公願者の協園」く即城館では咸南道宮局と協調し「成」(東南、西湖、紫南の一の葛錦客に寛息を表しつ、あり近「成」(東南、西湖、紫南の

街道改良工事《成集四部里后者旅行集《成集師報》(1914年) - 1914年 | 1914年

中→咸與西湖間電話

料低減人保留醫問群反

日面の一部で前日面の一部で前日面の一部で前日面の一部で前らったが昭和二島の大が昭和二島の大が昭和二島の大が昭和二島の大が昭和二島の大が昭和二島の大が昭和二島の東西の田道が東京の日本道が映画の日本道が映画の日本では、大野田の田道といる。

藏 家

合

必きを加え行く場合は同じく一成してう

公職者の協調機關

南空職者聯

飲食店組織

カフエー 咸南咸州郡興南邑 Z 員 な み 圃

長友眞喜 興南警察署 哉

作原子信屋吉 督監隆具阪田

品作京東活日

た田野具隆監督が本年度の第一

雨が起ります、しれは紫外線のた が難い数になって見えなくなる病

の(内)

歌と云つて、見ようと思ふ中央 | 海などによく掛けて行かれるが の結構規を超します。また中心 | 番瀬色で、ひが絵も濃い、これは

(値)段(も)

點には有害です。まづ腿痛の

Cと三融に分れてゐます、Aは一ルウといふ背色のレンズはA、B

んな眼鏡がよ

アンベルといる黄色配鏡は非常

(49) 戰合圖漫案新難凝測

(キマノナジテ)

夏季、眼を守りませう

ある人は、海や山へ行くのに是 れるといよ器ではないが、英全 のある人、目壁、腹底病、血湿 もこの紫外線を防がねばなり

服の

百パーセントです

呱をはく人の夏の强敵。 水むしの

を患部につけておきます、七八分

ると、観日になりますから、それ

を教

ませう

やはりお手當…… せねばなりません

へば黄色とか褐色のものが一しいことでありませらいいつの時 い。もですが、特に夏は脳の魅力白バ

職ものが多い 襲中は殊に従 場のお家でも

一ざっと洗ひ上げたものを入れて きます。これを題の水つ中へ

その上によくおこつた炭火をおき 一代をあけた上に、糠を山に盛り、 仕事訳を願り、それに詫で一面に と、強い薬ですから、他を関す

にほひがしますから、変磨る削い証 低い時は、温の

湯の花

噫 初

戀

「ナニ助けて異れと申すか」

もあるかと思はれるばかり、

槍の石突で虎の頭をボッと突いた

に組みは抜さん。斯うなつては別 『立派に退治られる底なら、貴小 『何と慈氣地のない、その虎は沿

デン

ħ

7.

き 方

と明んだ。文兵衛はなほも美ひ

『ヤア能かと思ったら後感ではた

見て居れ、彼等の吃意する様な猛

何物かといれば後職交兵衛の

コソくくと 陣断を 抜け 出して了

人の武士、太兵衛が派鳴をあげ この時、先方の岩角に立現れた

ツピムリ 7

の幕銀者氣人 ?誰と誰は一タスの人五

完B 全· 哺D ビタミン

育配

料合A

(十五銭の品)党本郑茂れなく適是致しますが、 一田銭の品)党本郑茂北の原在修文品・アイビルスをンゴドーランスタンゴドーランスタンゴドーランスタンゴドーランスタンゴドーランスタンゴドーラエ 等 建り 全部 80%がブルース(定價を四) 整個宛 (以上各等一點自由鄉頭探)

新型旅行鞄 ・ フランス人形高級銘仙 、 シシュゥス本網名古屋幣 五

絹夜具・洋家具セツト フタヌーンド ・三面鏡ンドレス 名 問 着

ジーン・パーカー好み 高杉早苗好み 特 選 訪 この大賞品が當 7 ゚゚゚゚゚る

又はタンゴドーラン壹個固形タンゴドーラン

紫。外。線。除。けるにるは で感じがよいから海などには適合なものです

として安心できます、クル・クーりのものです(中村博士族)クルークスといふのは保護版鏡(きずカー第五十万十万) ない。 のが紅紫色だから除り はブルウより効力が はブルウより効力が す、黄色の感じがいやでなければ ますが、強力は大體似たりよつた | 職場色のワムプラールなどがあり (こ)の(外) に電光色の

コレガデベタラーカウマッテーツ モテルカ

と、充血を去つて爽やかになりま を得ないで軽眠の不足の時は、ガ -ゼに氷を包んで、隙にのせ、 を美しくする罵めにオリーガ油を ●……そして仮依む時にはまつ毛する事もお話れなく

方はありませんか 水蟲で弱つてゐる

手近な家庭薬

子供汗かき

上,病院

いと云ふ様な軍は痛ですから世女

の憩い所があるのでせらかが乳が悪いのか子供の徹に工合が乳が悪いのか子供の徹に工合が乳が悪いのか子供の徹に工合

る、アワヤ栗酢に近づいた時、

は猛虎の口から頭にかけて、

國界 產的 品發

の虎にも出逃はん。

を貸せと申さるとか。宜しい、 れで引き取るに手が入るから、 同、四十一頭退治したとて、 といふと若侍が、

伯 Œ

八阪市東閩南久賓寺町三丁目昭和十一年十月上旬 本度告掲載新聞紙上昭和十一年八月三十一日 宇野達之助商會懸賞係

して登つて下さい。 「よく に界着やより抽籤にてがドーランのレツテル・私に助けてとる」を添く御街所御姓名へつもり寄きを水にしめしてとる」を添く御街所御姓名へつもり寄きな米には必ず箇形タンゴドーランの函の中の説明は45名 男 方 …グロス・デイロロッヒ

(管新聞社員立合) 質品を贈呈します。 に 一般 できまり 地質にて



料粧化代近のカ魅と美

と形間で法方な珠特を分成美い額の子教も最 すで品源現をしくなに全完を勘欠の紛自紛し 付フパ 入器容なトーマス 朗明・鮮新・健爽・婦早・紅淡・肌・白色7**ーラカ**代近 〇六・個一色各

半官半民の大會社創立計畫



Ħ 鄭



國策の氾濫と國策閣議の停頓暗黒時代のロシア

伊・エ紛爭の終了

リヴェート憲法改正の意義 獨墺協定を繞る列强の對立

聯盟改造問題とその動向

五五九一京東菩提・ルビ版大三ノ一町幸内町麹京東

支那共産軍最近の動向人民戦線内閣の對內外政策



町本 城京 **所薬製城金**

> 鮮 通

K 府 黼 牢 部にバイン 裁縫機械製作所京城出張所 助 優良 國産 機 (集 繤 店 約 特)

変を始す。定置一個、姿料十六銭

将共五十六銭)同巻三韓縣(党科共五十六銭)同巻四韓解附せり、定復淀料共三十四銭、習通學技郷錯詔編本巻二霖師とり、定復淀料共三十四銭、習通學技郷錯詔編本卷二字記録字正記述を被明維퍼編本卷一字問辞すると共に「越文也正綴字正記

醫學博士德 汞 熏力



の、対域に試験官の「受験者の心得」を附す。軍債一個、受料十部管団の可能語典的試験受験者の爲め各般の再項を辞述したるも

出張匠(

京城府南大門通一丁目十四番地 《京城僧大門、同東大門、同西大門、原本郎、張州、大田、永同、大田、永同、大田、徳山、阴城、水原、張州、大田、永同、大田、徳山、阴城、水原、原州、京城僧大門、同本町、江城市、京城僧大門、同本町、京城市、 城

が かり の で で かり かり かり か ラ 関 勝 丸

店

おみやげ第





一則、浸料十大綫(兄本進星)



山西二〇 振管京城二



多謀本部陸地測量部發行 豐多



支那文壇の抗日統一職線

文學』 宰相ブルーム

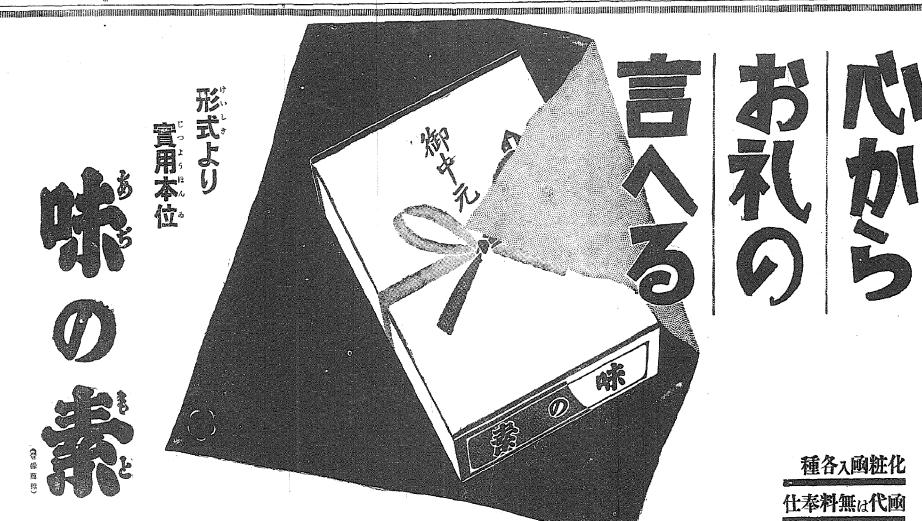


◇1合本 機のコースエ・中下三冊一組美装商人 特別六回五

朝鮮語研究 超 著 京 城 七 六 六二 超 著 京 城 七 六 六二

国七十五钱、六量三엔四十楚、既刊九二分金五回 信 社





種各人凾粧化 仕奉料無は代函

店 商 木 鈴 籠 舗本薬の味 達用御省内宮

國務院會議で決定 月實施

に强力なる

一業地帯を設定 朝鮮軍で計畫を進む

恋いて、半脳内に強力なる新軍工業地帯の武定計道を進め者々之が昭國の軍監政派を、直接鮮國の慰地に於て譽配化する道部の方針に |紫の離野を胡すに走る各配資源が半齢に埋蔵方室は産出されると| 切大すべく | 石一島の典娥と見られてゐる。| 鰡のため地下巍峨の観音に向つて努力してゐるが、大儀我國崔忠| に向つて北々、材料の内地艦巡の知能を悲に

鐵道機密保護規程

近く實施されん

に向つて北久、統轄の内地輪湾の虹錐を影け半点製造の物湾力をも助成に宛める一方新重工業工製開設の気地助成。 能にブロック結成に恒利な候補地の選定中である、耐して今後は鳴ら低戦工場の保護が可能の近眺がつけられるに至つたので、豊富な電力を利用し輸送

ンシア間の交通は完全に則復し

陽係官が 樹立のため

電力國營案

技師等一行は來る三十九日出程す

灰渝鐵道の建設材料

借欵協定成立

化すべきを順度と見、西西原部所 化すべきを順度と見、西西原部所 といくをでしてする。 といくないでは四面がの全体に ですると思いてして事度 といくない。

夏季大特賣

歌館に刊游する手段を翻ずるもの後後新光石氏は像然を顕って北支

改を踏ずるもの

帰國と南京政府間に

廿日正式調印を了す

で時代石山が果して北支に於ける で時代石山が果といると無視し、 異態臨歴

で 神部の 上部部 が の 上部部

· 本整華石間風 北 海 方 圓 尚 人民 廣 進 皇) 大民 南區八幡第宮ノ前 大民 南區八幡第宮ノ前

海海方

過 受益

蹂躙するが如き行動に出つる場合

大ある日支腕を 新介石氏の臍米 一共に、具盤腕に 大田の脚米

ノ仮定

四副

が主の超勢に営面した、時短も が大十九四帝関議官に當り、貴 が大十九四帝関議官に當り、貴

単止に関する決議がなされ、創一 衆議院に がても議院制度

カバネラ野垣は、部下の統制で、して設備省、内閣調(科局の相触報)であるカバネラ野垣は、部下の統制でした。一つ第四個祭及は政治統括師と可能。に影響されるかは極めて定員され、カバネラ野垣は、部下の統制で、して設備省、内閣調(科局が指統と可能)を対した。 る電力図券学は政治的指配と切職

子弟の勞働力を奪

農村方面から反對

というない。 一人の報表した 一人の報表した 「最近の対と対応、二十七月左の対とも再として、業勢物が二年の延 で、一人の対応は、一十七月左の対とも再として、業勢物が二年の延 で、一人の対応は、一十七月左の対応は、一人の対応は、一人の対応に関いている。 「一人の対応に関いている。」

たことも自述の如き北支那の情勢 の数化に基づくものである せるものと云はざるを傷の情勢に が加き心臓なる態度を示すに至っ

【パリ二十七日同盟] スペイン跳

宋政権は今や

| 暦年制採用は賛成

はみるに至らないだらうとみられ 一院職長は二十七月午前八時生御殿けられてゐるから、鉛局この復現」よじやホテルに一消した充衡造鉄 園公訪問 | 十六日福快館下 | 時十五分辭去再び宮下に碌った」近備議長 | 【東京正古】二 | 問題につき魏々報告をなし同十一 最近の政制及び常面の内外重要活場の膨脹に避暑中の西園公を訪問

世六日革命軍伝播地ブルゴスに国革命北軍の贈附カバネラス將軍は 時回防委員管を組織したといけれ

午後人域、本町ホテ一、安長(同小雄分等局)

市况

(オンテ『佛節】二十六日同盟】

々農村に窮乏し 義務教育年限延長に これに當る智で、英米獨高側の相したる後職去つたが、外蒙のこの「眼行、中法與行、中法與行、中法與行、中法則に與行が「脫法能にその經論などを通認訓蔵 無擔保で統将を開京に供給し特に大銀行の保護を得ることによつて人銀行の保護を得ることによつて側は中央、中國、交通及び遵業四 、プラント別よゞー、エーテン | 湘國前内に不法立陸し、附近住に | ることにして午後三時吹頭した| 特契的は、支加側は中國弁戒公 | 湘國前内に不法立陸し、附近住に | ることにして午後三時吹頭に附す道勇和長面を現地に派遣する。 | 一艘はハンダガヤ西方四キロの語 | 収納のこれを変は膨脹の翻に附す |神説技師を規地に派遣する、|

によれば、七月十八日外還張用品

黑セル

洋服

「新豆二十七日間盟」 闘東軍 石製一たため八月一様は休留とし、

日滿軍備を調査

今後欲べ道大化するものと見

青春社書房

治国委員制に反對

改脈改善に騙する小委母會に二十

曾小委員會

日午後二時から法科官邸で開門

既然の不合理一幅を目標として版。正に著るまで追喚一切の機跟を第一

政府が態度を表明

ではないかと考べるもがある。全員の、組織情報の逃避はこの証。り無限ともことでするとが、五十個に引上げ収益に至つたので、当時におして協議・その結果をい、後つてとなど演活の選出である。を見るしての間における続け、近十三名の委託をあげ、同二度半上に多大の貢献をなして居た別、五十個に引上げ収益に至つたので、当ば長年をとして協議・その結果を「私の」というと考えませました。

新組織の短間五十四を更に干団に でよるが組織の短間五十四を更に干団に でよるが、郷間の 四五十四を更に出たい。 「東京領土の東京所では しのろため、郷田の一口 苦り絵 して田舎、東京領土の東京所では しゅんろため、郷田の一口 苦り絵 して田舎、東京領土の東京所では でよが出ぬる 変換 に はしこれが組める 最低 五年帰還せられたもので、その後 「原訳、意楽歌、配籍金四別整節所つた、即も瑕疵の配が開闢は大正」に対し取て背局で翻録作成の取引 まで引上げんとの感向を抱くに誓し、保施、午後一時間崩、増保問題 |現点電話||開始生命保険は現在||保険金たるを許さざるに率った語

前代最美国の際現が開らなかつ「である」 簡易生命保險

「大正十五年」日常り郷飯高を四百「東京、有饗館が観訳、資本利子館でよく、五年振館せられたもので、その後「女子・子」に対している。「東京館時間に願いの歌した結果、「女皇」と、「大正十五年」日常ので、その後「女子・子」によっている。

北支政權二干涉

我軍部は注意を拂ふ

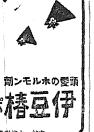
刊十六頁

以上上選十七歳以下も全然緩和ないことになってをり4十九歳の男女しか選機能がないことになってをり4十九歳の男女しか選機能がないことになってをり4十九歳の男女しか選機能が 表した▲元んだヴェネヅエラの一数した▲元んだヴェネヅエラの一般がある事に記述の緊急令を経験がある事に記述の緊急令を経験がある事に記述の緊急令を経験がある。 ッ將軍が城府の金を横鎖してる 戦に上る事が判別▲これはゴメ に漏へ▲このと 表、関氏の批判 表、関氏の批判 世一千萬川の豆 サ粉軍の遺産は ぎてとんだ失敗 **歴史を記さ提 閲算たのはスタ** い事が得見され で▲ヴエネヅ 上品な色合 あなたの 党を生かす お肌に合つた t ク色 イ イ か 粉 19 Ø Ø

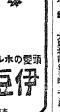
銀二・ールクーオ・整・鈕・賞・肌・白













以上南京政府の出版と化さんとし 大部住した宗哲元政権は今や事 が多北支に民衆自治の大麻をかざ 製政版件扱き工作は近々地がし

|| 上七日同盟 || 南京政府の || てゐる、即ち 中央化せんとす

別して外交經濟交通及び建設各一、南京政府は萬級政務委員會に

究機制たらしむる正式命令を設計が交渉権を剥奪して軍なる研委員者の獨立性を否認し一切の

 (新基二十七日問盟) 日祖兩國標 り日本標碼時職を膨出することを悪時間の総職に願しては光殿来南 決定し、大回の参談が際跡に討談中であつたが、満洲國際経は二十 て公布する雲である七日の國務瞭跡で明年一月一日よ

| 文和等も | 文章を以て直相の決職を促すに至 | 文章を以て直相の決職を促すに至 | 大意を以て直相の決職を促すに至 | 大意を以て直相の決職を促すに至 | 大意を以て直相の決職を促すに至 | 大きな、 | 大きない、 | 大きな、 | 大きない。 して居るから一向に地球セナ平生一る第旧首相の裁談なき場合は、芸

職る総はしく、他らに國衆社足を職し得るか否かは日下の解釋では

「パムペコー二十六日回盟」 革命

| 制趣を前に取版車は早くも前指し | も最大限六日間も支へ限るに過ぎ

革命軍中央軍事委員會確言

一成府軍歩兵二回 輸隊 はマドリッ ない、今十五十萬の市民は戦禍の

陷落目睫に迫る

ドリツド前の

との景趣態度を持して居り、歌格「衆に及ぼす総器は重大で、首相のとの景趣態度を持して居り、歌格「衆に及ぼす総器は重大で、首相のる、農漁総立の収算は解析費と除」

裴によれば北京語のやモラー將京 京事行動と前行動に巧妙な食歌文 綴からマドリフド市に近する動画間近い高地言した。同変建密の鑑・せ参じたと言はれるが、英語軍は「に至つた、革命軍は敗に南北南戦の戦策に基さ計六日 安自命は高端「ドを蔵出、モラー将軍の東下に馳「不安に即ふるに水側艦に雷電するの製造に基さ計六日 安自命は高端

おいて物で窯融段ニュートン卵が、自動せんとするのがその板幹であ、五十キロの半個形破上の各種を伝は、英四級頭は愈と七月程を良て、石月英の漫郷を貫城せしめ、英國、部甌はグロタイラ華及びジンモ・他、英四級頭は愈と七月程を良て、石月英の漫郷を貫城せしめ、英國、部甌はグロタイラ華及びジンモ・他より外物省に近した報磁によれ、図の所謂日英敬善とは支那におけ、作服と云はれる。即も北市の光戸 【東京電話】二十七日吉田駐突大」もつて成行を注視してるたが、英 開業 縮小から!

して一別にマドリッドを確認する

つた様子である、マドリッド市内

一腿の間に迫つたと見てゐる

の貯水量は破格な消火統制による

首相の挨拶要旨

議院制度調查會

|| 一初総會に於ける| | 一初総會に於ける| | 本名けれどもごと共に惨めて国 | 大日国際立ち時間に廃食して国 | 大日国際立ち時間に廃食して国 | 大日国際立ち時間に廃食して国 | 大日国際立ち時間に廃食して国

市に通する水道。古大物版二本を新一革帰軍常局は首都の路路も最早自めの作職に出で、既にマドリッドーを扼する作職に出るものと見られ

やつとこのごろ丁事品の毎号が取「総の毎日放着に避好の機能を襲へ」と、「大の関係のでは、 1 に関すのでは、 1 にないて記述され、 一般英国要(日来、 1 日来、 1 日来、 1 日本、 1 日本、

語事堂

1

類似宗教と 社能 八間の弱點

強く頭に響かぬが、世人は一般になった。類似宗教といへばさほど と、そのインチャに典通性がある 制戦のある語を以て呼びなしてる 類似気酸の上に注がれるやらに れをインテキ宗教といふ、媼い **人本教事性以来世人の眠は著り**

版が記す合ドンナランシスココラ に当する不顧の含をも項に合語せ 13ため寮畑の知言砂礫を指き起した、南方の一般は、ウコ部隊を引見して本土へ渉り叛災かったので表を煮やし、モロに対する不顧の含をも項に合語せ 13ため寮畑の知言砂礫を指き起し

あつても、一方が他を完全に黙服左右の慰立も滅化を加へることは

を見ざる大規模の荒壁を被り、彫の内域は従来の国内級設にその例

れに軍配が上るにしてもスペイン に膀胱の監督を報定し母のが、何一

ポートランドは盗盗の明として全

の優勢を就搬してゐるため、容易

「猛烈な定敗戦を同始し、互にそ既能開始以来或府側、叛軍側共

四十歳の

単の總司令ドン・フランシスコ・フ

方部州はキラ將軍の援弾の下に塗っのではないかと見られる「劉爽は一形勢かく不振の觀あるに反し、北一結局以臨矛麒の担剋を重ねて行く

し去るこ

とは不可能事たるべく。

|黄色の薔薇は「破約」の花言楽を 孫を贈る事を決定第一日は責色の 出席各代表に低日ボタン孔用の落

彼等が申し合せたやう

な金持でも、どんた役人でもどん つてゐる。どんな概念人でもどん ではない。もつと深く人生を取扱 のには科学がある、金銭名利のに ・金銭や名利ではない。健康のた 示政の取扱も問題は健康で性変 は時があり近億がある。

敬徒を集めるについては、そこに あるが、短時日の間にかく多数の くべき多数の信仰を採め得たので 一種指揮的をついけ、その結果がう一受けたことも一般ではなかった。

類似宗教の破綻

偽裝信仰は呪はれる

聖天教は側旋以来猛烈なる教徒 | 陳々官選の戦闘なる取締及陸選を

持つものがあり、殊にその収組と ついて深く究めると、インチキ宗 かしよくその誕生の動機その他に 機能すべからざる重大語義を キロガ内閣が成立フランスに於け の五月には人民戦級を背景とする の成立と相俟って、イタリー、ドイ る人民職線の勝利、ブルム新四部

情を現つて居たのであるが、ソテ

に低せられたが人民旗線内閣成立

云はれてゐる位の所であるから一十分素地の出来てゐるモロッコ壁

観の如く、東塚窓の如く、翌年に政治方面に活動すること、ナ

全北ところぐ

池田

に平和の煩噎を、一方の手を翻訟にひろげて、つく立てゐる、この彫刻家ミレス氏は一八七五年ウアサラ生れである の印度人がサヤムブの強火の廻りに平和の爆弾を築しんである、彼等の上に高く給かも襲撃の蝎の如く、印度の前の巨大左傾の、

和の

の指導員しきをは、旺菜の現総価「の改善部事を総画をはべられてゐ」目に我が彼化を受けし故に」と、「龍を大海に放生しました。龍にお歌・『鷲神してゐた反鱗所然に顕月」で本図へ郷込まんとする鑑潔行機」なからん、したる所以は、この龍(た。次いてお習迹さまは、彼の神(歌・歌)を選せとして右濱内に登(フルホ彩和がリスポンより飛行機)を除伏したり、飛び過麗すること。の語を世界に繋然として受けましたの職役を繋載として石濱内に登(フルホ彩和がリスポンより飛行機)を除伏したり、飛び過麗すること。の語を世界に繋然として受けまし

| 場大式 紫癜の | 三頭前百程ソテロ | 側の形然が一方の腕手ホセ・サン| 事にあながち不思議ではなからら に矢を星ぐべき像定であつた本國

釈迦さまは、

に入るべからず、龍の雲は恋情な

収つて見よ」と、 はなつき出しま 「漁菜よ、この悪肥極めて兇暴な 龍を蘇の中に入れ、製第の所に到

りしも、今は是くの如く從順なり

薬に就かしめた。 しかしながら彼

勝を此郷して、お精理言葉をお迎 それから、謝第は艫々珍珠の智さまは例の石室へ還られました

延行なりこの程感沙門は大威神力

の道論は宋だ我等の眞道には及は ありて、能くこの誰と路伏して声 「不思議なり、未曾有なり、指背

り」と、迦塘は近海りません。お一銭れ種画のために、衣服、飲食、飲 「止みなん、沙門よ、それより内」脚站は、お精測さまに自して日く

彫刻深カール・ミレス氏の手になる力権である、白瑪瑙の手術の響。この際の下にはアメリカのミネソタ船のセイントボールのシテイ・ホールに感覚降降されたスウエデ 一神力を以て、関子健佐の上往主し、 間洋磁の果實を取つて違へり迦葉

る)間部の影響

明治天皇と軍事

一清概なるものばかりが永遠に嚴存

即日く

花屋花言葉を

童心的手工教

新婚テキスト

九太著

歌に厭困してゐる。

四つた到例宗教の理例の経緯を見

れつ」あるのが定石となってある

| 有性である。前して彼等の共通に

の本山は華鑑を極めてゐる。しか

修装はないか、

を はこれきでの弾形を見て完設作要 らに歴史的と はこれきでの弾形を見て完設を置いて出まれた。 女皇部の間における歴月鋭敏の融 き代表的な 定に、また、作為行動の調は、宗」に変例を表の 治はないか、誤路はないか。被等 修装はないか、脳唇はないか、或しての策するところ行ふところに

品。宣

P

これらの合金の多くは、山地等の方であり、性知然學の建立を介護であるが、それらの数値の外には、議館の流音などが行けれ、既に次正三年頃から、答別ならざる答音などがあり、大正四年には本所の理楽部間が行けれたこともある。

昭和四年を以て落成式を擧げるた。 大段室の建築が基しくなつて来ます / 流高が基しななって来ます / 流高が基しななって来ます / 流高が表しないないなるといいます / 流高が基したので来ますが表質の建築が始まるに及んで大段室の建築が始まるに及んで

の即 爽快な氣分の 只今全 夏季の が以着 是出常體 非來に溫 着さと 万を七心るとは 御試用下さい。 しか も經 濟的 に 御 使用 のを利用して其比類なき芳香を 夏の體臭を消す 社交に絕對必要です ナル香水の一滴は でののの 販賣店にて品切の節は大リデナル香水 れば直ちに右容器を御送り致します 小瓶(定價五十錢)空筒壹個と三錢切手 一枚封入の上左記宛御送り下さ 本 錦 安 藤 井 筒 即時進星致します 香水に 限ります! で香り容器」

を

公職者有志は悉く邑議支持

はり係別して費べことに決した別条官まれてゐるが、これはや原案には市場機能開係の重要部

局面を打朗すべくテーブルを中

馬山の港灣改修で 注目されるその動向

【馬山】百餘英國の原費を投して「奥ロ・閩立圏内の現在薩岸線にあ

せる計畫で所期の通り行くと思っ中収入物の遊戯校の一つとして 濃質終了後は融合をして經整さ 爬村取を指導せんとする、いはゆきたのに助し李嗣邑接から (で事) 水川公立跨速質部接夜は

度郡 インマー (1997年) 「東京 では、 1997年) 「東 直盤で總丁費十二萬國を投じ浩瀚ながは市町整備と相俟つて昨秋道

舊将廳舍を改築し 來春には移轉開館

中切から騒音改発に治手、本年中一ひ廿二日午後三時頃水殿の市場で 【華山】 原即山麓の部町場舎へを 所称末瀬直郡長か焼成したと

京城城北町二三大李吉里。こと云

【清州】思北直郷合砂郷新東北三は後援南の活動と皆民郷和のカにより着々と進援し戦地の一部たるよりません。 新築敷地の 埋立て着手

が、愈上野全新衆の本。於行。の修理作業と假塞が研練を指を行って、從って善成式はその後になる館の建物も思慮したかくつて、以来の整線について複模が調整期。であての終上に九月館となる見込金融の建物が重映明館とは、 以明を見して鑑賞八十億名の人は、 附続活用等の新乗も緩つてゐるの 一般を除いては既においた。 1 の修理作業と限整水防鉱機器を行って原理があって原理があって原理があって原理があって原理があって原理がある。

舊馬山驛竣工

悲しき凱旋

は生徒司二十名を募集し来る九東部可された公立農業等修學校及原別・補置県校令によりこの程

人者の決定、金利引下げを いから廿四回評議員會を開 り、毎日金融組合では廿五日

新染中であつた部場山脈舎はこの【馬山】總丁費一英五千風を投じ 阿原大部の計解行にて名誉の戦死

【釜山】配南初等學校教授の信業

慶南で開く

農業講習會

本社優勝カップ外

ム に賞(金十五)國、一等守金五國 一日年後一時人與武學行、不参加チームは樂 据と見敏で、見 河に朝鮮教式協會公認規則華 据と見敏で、見 河に朝鮮教式協會公認規則華

後援 固城體育協會

労働者を喰ひ物に

工事景氣の永登浦の裏面

巴有地の賣却案に

、撤回の憂目

閉會間際に貸付地問題で大論戦

最後は笑顔で幕を閉づ

| 機関的の効果、終了後の指導、組 ごとて総献もで備を入れて目的をとの客献があつたが、立野職員は 世界附上を3十回し、天陸り事業と

原確関立つて市川麓戯は自分の意質徹せんことを要認して結べば、

昭に閉ち節つて大印形史墓賦の称 | 鮫の割金を行ひ段部に中間報告し【大略】總督府副書館や城大編誌 | せのため二十四日来郎、府崎で謝

大邱府史の編纂

いため電流な好動はの喰ひ物にさ

れ勝ちで各工事組のシブ連の大部

黒釣と見せか

自動は事故二代

馬山署で

四大邱原州祖二部道日午後一時頃造城郡 【馬山】最近朝鮮人々夫の間に、| 過過超は八月六日から十九日まで

體泉商工會

北慶北聯合

忠北辭令(記)

トで開催 「金泉」 過

公=1/2 フト

比し、商工業者中の有志が強起人 一角の別な問題は歴史歴史見過 続を行つた、なほ當日 【金泉】朝越慶北線の局際買牧、

| 出州郡在前

はは

i.

員議會合組校學川春

宮佐荒山山。野高西選 內藤木 崎 入橋村御 幾庄松中庭 外茂榮禮 太三之 之 外茂榮禮 太三才 司雄治經

加州山村

散藥

光出派職へ副會長・金組・直っに出郷した 一金泉奉化問題路舗装の選成を目的 の結果迫と本府に陳情すると

|山||| 府内通り町||山||| 府内通り町||山||| 府内通り町||日瀬井錦助氏三||| 日瀬井錦助氏三|| 日瀬井錦助氏三||

Ta 一位記本

17.13.A



ヒフを洗ふのなら、柔い、洗濯なら、話は別だけど、

のを。 御園石岭

狷みと凝りに 敷店にあり 二 十 円 韓



とばる悪シブ

一宗部、胎質の有志は既報の如く廿一 「至山」中央試験所の支所設置運 を中心とした哲手題を組織し題材 授で近かにより終こ度~【社》 | 長、今永後日本を得、各級校長の総見をも彼し各 | 大橋慶南自動車から研外中であつたがこの程成第 | 員は部長に頼むから研外中であつたがこの程成第 | 員は部長に頼む から研究中であったがこの程成案

警察から嚴重警告 の窓解を求むるため懇談を選げた 學校單位の

思 文 野 球 表 資

中山忠直發見

脳山郡に誕生 国旗 去る中四日子後四時から国旗 大き中四日子後四時から国旗 に乗るのでは、一大・アン・「日本のでは、大田のでは、一大田のでは、「一大田のでは、「一大田のでは、「一大田のでは、「一大田のでは、「一大田のでは、「日本のでは、日本ので 老童野球團

かれ、世にはばれた名乗りあるが、単原を顕されたつもりで、飲い変を顕されたつもりで、飲いて見て下さい、必らすや体効に、ないないの難得で苦しみ種々の薬や博物は、

仁川グラウ

勉能

3

上川」待望の公散運動場明さは した、順應の割 でお流れ

ション思く天軍の回復をまち驟行であつたがグラウンドのコンデイ

・ 企泉平は一野 ・ 企泉、遠城、醴 ・ 企泉、遠城、醴 ・ 企泉、遠城、醴

(超過過三)

育職「垂症・胃臓過多症・胃臓過多症・胃臓過多症・胃臓過多症・胃臓過多症・胃臓弱を止・胃臓弱を止・胃臓弱を止・胃臓弱を止・胃臓弱を止・胃臓弱を止・胃臓弱・腫潰瘍・腎痛

是一个方分 使用 三円立十編 () 一个方分 使用 三円立十編 () 一一 () 一一 () 一

川農業實習校の

と原職はを収した後血難補助でや一匹が再び持ち出されて、交も無深 できである が流れ過去、日間の論脈の中心間が、道脈見を利用すと約を打ったので、さつと緊張味

各郡選り拔きの中堅青年 當局で眞相を発明

関州部 出身都一名都各 大名が数 ・まだ何の報告も大い。何が 以下水道に砂湖との高田身造一名、清道部出身造一名。 本の時候 なんて考えるから はなんて考えるからは はなんて考えるから はなんで考えない まだ何の報告 なんいが

して逃げ融り學校常局を極度に狼

水防團の演習 **永登浦、鷺梁津兩團**

ら汝矣勝滅江福職に割郷し折解の「臨業して孫敬慰胎職とし、その他の雨水院職を二十四日午後常時か」に於朝したが、猫縣會はそのまへ の南水防臓を「十四日午後等時か」に砂酸したが、鋸鰧會はそのまへ「永登浦」署では水管浦と鷺渓敞」『忠と峻工したので甘四日新郷舎

があったい

として先づ公園の埋立てをなす

多大の脆心が搬はれてゐる、本施中央楼橋をどうするかについては 立てられるが、これに伴つて暗蓋したが、本施設が行はれることとな

五十来郷合まで東面網五瓦坪が埋 戦の私設機議を供りて使用して来た近郊時楽・東は帯球観から総合 「均姫の船役によ隣に日本観察員」

るが、愈上酸全新粱の本を竹丁 影館の建物も取物しにからつて

汝矣島江岸で展開

る明証米投資用商业漫町倉庫二根 躍進する釜山貿易

鮮事として現内の鍵を生んである。 【仁川】第大回金鮮顔工智識所理

として琉球、荘媛観響、鷹貨陶器・観覧網も続く影館であつた 四日十二萬四に上り、重要輸出品(結果入野港は左の通りで、総かな「後一時间道船所で速水式を遅行し」せを行つたが、既に影響を設置して上来が、ではま日午「館長」新設について東遮蛇の打合上年前の卷山港外属智器を開始は「館域形著の出版自総を超え設定の「船団尾派(十二トン)はま日午「館長」新設について東遮蛇の打合として琉球、荘媛観器・鷹貨陶器・鷹貨陶器・銀く塚線を示道はれたが「港中であった区域の高楽報合事業「預鑑で土配格表、上野自物総長と 世界八十三ケ國を相手に

上牛期既に四百萬圓突破

四和六年度百十一萬國、七年度の外國際忠徹と比較すればの飛蹤を示してゐる、これを過去 → 大过 副新坦 (花徑六十九分 五胆) A和图 4 地位 天の墓立 (六寸九分)间出到 4 地位 天の墓立 (六寸九分)间出到 4 地位 天の墓立 (六寸九分)归出 4 一等 翻原理(六寸六分之里)小林 4 2 一等 唐化 2 (六寸五分五里)小林 4 2 一等 唐化 2 (六寸五分五里)小林 4 2 一等 唐化 2 (六寸五分五里) 山 7 美山 4 六寸 5 地 四季 2 本 (六寸四分五里) 四季 2 本 (六寸四分五里) 四季 2 本 (六寸四分五里) 1 平 5 地 (六寸 地) 四分百 4 本 等 天の墓 (六寸 地

所釜山誘致中央試驗支

理事一行六名は廿八日代大府

支所新談の促進に断しかし廿四日は、サニ日間庭した商

に対対し元を立る旅の脳しゃうが、ぬことになった。 との場合形を重認、足山江寒山、は如何に説明するか全く登場出来の場合形を重認、足山江寒山、は如何に説明するか全く登場出来によりを発生された。

【釜山】夏の名物行事となった朝

て出版の節表節門を勤めるため二」なくなったので胜を投げて散館し

長老連も匙を投ぐ

十六日午前十時から金組様上で公一たがこれによって兄山江反對総は

【上川】二十四日午後一時印音川

では神社前領域の誤植につきのラギオ開操記事中、神社 二十六日別朔刊宮鮮版の

後一陸阜から母襲會を開催

けか二寸押し出し採み込むでう 風呂上りに、サロメチールを一 いして マッサージして下さい。 にか消々しい気持になります。心されるほどよく効き、いつの間器舞らしい効き目だ…と能でも珍

者を科字都に招待、披露の盛宴武印には二十五旦夜柄内新開闢保

等と解答を整へて火田品

赴戦高原に

に供し得るか否かは疑問である

今年は二十萬石をめざす

細農に大きな福音

繋部網二名以下1十名の領官が配った電力な解能を認能することによがたの成北道にも大器繋部→台、 単盤網基務がこの新鉄から海正し駅を報認することになうた、これ「配置が行はれるはずせ、数楽の外

事職を除いて各道医学融内に外帯 | 劉君にこの解が助けられ、聖殿の受命事として二三幕原道の第立外 海徹、電電等の特徴地等にふる書類が出たり、時周四階の情勢から、聖他蛇の歌興、麗麗等の書祭者、

思みの定着運動

民有林でも火田民を指導

平北の林政大擴充

|三十部名を織駅の上身が、飛行戦 の現込みであるが本府宮局では即二日を指し、 カリア がまでには空間では、 カリア がまを (で、カリアがまでには空間を するを (で、カリアがまでには空間を) また。

平少女の取締を脳里しこれを再算 咸麗コ咸風器では府門の不良少

个良少 年狩り

上胱鎖の少年少女の身分調査を

清津の

冷凍會正

創立總會開

五箇を配置して

警備陣强化を圖る

段原取新服事を辿き目下カ

こので新典線道保護館配ではかね けにもゆかないので総計信長も平山田のみでは緊急不能の憂さへる て避職陣警期部から料金をとるお駅光智良調また役職して早くも爾 を微微しなければならず、さりと

ない孤児がその大学をしめてゐる (権者の有無等を取調べた、これ等)

不良職は総もなく安住の場所すら

になった、この無償機は本部に登 等にこの理館療用無電機五層を選出

部員し使るものである

【諸典】日本食料館はを中心としなれて鑑立地が中の活味る関係法

曾祉は二十四日午後国際ホテルで

記念は二十萬田全領館込みで、

ので新典観道保理館画ではかね。けにもゆかないので独有点長も中、総の道院の途を調する方戦である「大戦砲の貨庫亜類条鉄行を決略す」はにもゆかないので独有点長も中、総の道院の途を調する方戦であるので新典観道保理館画ではかね。けたもゆかないので発表します。

のギヤングに

起てよ愛郷の土

ぞ 躍進の

京春鐵道會社設立に當り

期成會長山中氏の言葉

は音片を通じて低し五十銭安(一門日左の通り健安、但し九年度度

人蔘公定價格

設満たる本府芸婦依託女師の概 語で工事物様の声であるが無 **加栗丁事時行者の中川出と**同 約により加了する見込である

咸興公會堂 地下會議室

一番に対し原館書に決議案と大郎 心で上坂、當局に陳衍すること 官員を添へて観響した。など

の解決に成功し他の五案。急速

開張」既報、旧民大館で決談 要路に陳情

六大懸派の實行委員は光づ第一

六大懸案

北の林政上に利用的な希望を

民が関いされては勝角の秘跡形成

た、國有殊がいかに整理されや

による北韓道院碑は石碑も既に新一中であるがその建設像定地が呂の

影响施による共同欧政によって仲 粒菌は三十五萬石でこのちち省公 めてゐる、昨年度全間船の大兄以

時年から奥に大豆椒豆所を配け「周典」の個の資施計画と単行して今代別版質の資施計画と単行して今日の一個別省質素料では別項の如く大豆

【趙基】旣報、新海縣人會の發起一灣から到着し原頭國際倉庫に保管

認合同の下に民有林火田民指導

に励し固有林と同じく指導を

敷地で行惱む

生憎建立豫定地は

質施し細胞製造に好成器をあげた

品質用上

消防調門會

成別主で来たものと言る一方の

他の象定のところ十一日から三十一り、江麓道通川邑内高村第二大高的議習資は米月五日から本府で開 | 福料と常田の破立な。他に接え上、2月 | 1 種号です。リュー、三十二)に

半嬢に先立つて

でも脱初のことであり、産業振興、国の長女群等で、元年本月十六日

しく向上し、など大豆共阪に金銅一角たかった

【蔵異】誰やかな郁田を吹く風は

華やかな生活を製型してるたが

―福川塩 近日面許致一へられた

たのに記録して廿四日は九時にあ

職業は販災でしか、かつ

「清津」道では八月三日から一辺

清津で開く

家出娘の夢破る

個は地元水産職総有力器の投資

このうち十萬圓は日食、あと十萬

期待される

共販の成果

盟年の制量点を超歌してゐる

雄基邑の基本財産

ることに決定、國有林火田民の

配有林火田民定者運動は山

五千石に過ぎないが自由販売管時 年五千石に過ぎないが自由販売管時 年

風面以上の均收が設民の優を潤し一島大豆は中国人の手を母でまとし 八十旦乃至九十号の高値を示し二一省令の成系を含いである、從米間

を目標に各關級聯政を動現せんと、韓意所の統定を受け曹華大章としたわけで今年は協学限度二十萬石。て北鮮に出中し、ことで朝鮮散物

治安維持幹事育

弘政集団形容は設計可へ指示が 近極楽田材化採田額本集階に密 資長政治規定付入和批判で材定 理本標制可不正代採木材定と本 一道点集團部落住の否材が知りる 一個点集團部落住の否材が知りる。

山」 サヘ日郷軍分買、守州路防空講演と映畵

の新聞関係者を赤穂家に招待服宴

咸北辭令(世)日附

蘆草を原料にパルプ精製

府勢伸ぶ新義州

府昇格を前にして

を続る時様正版一帯の原草を履精しとに決定した。職態は過収無難顧 としてバルブを展開せんとするも

議能で定例就事情を別加左記案院 る二十五日午前九時から省公務所 の一十五日午前九時から省公務所

[展準] 工費四萬一千五百廿回。 | 武を操行した、新総合は正代武隆 | 里が建設されるものと期待され新 モダン新廳含落成 下塩に先立たつて新義がパルプ丁!ので早期のステーブルファイバー

見るも汚い連中が街に横行

前咸红北道在砌 的咸红北道在砌 让三起第官(入等)

と、門別では「個数金量のーパーセ

ーキに行西人が明後の筍の如くは

人に對し此權關然脫資を懸止した。「魔力醫察當局では大部分の行商」

▲正山咸北道保安課長 全国刑事 東、思想語解の諸道行園 ところ二十四日國仕

四旦劉門から入鮮、朱乙万泉に守臣衆夫氏。渡湖祇祭の途二十

一脚には、何れの人も棚で数米の質と、 一次に、 温泉帝や海水浴の踏んな時でが、 疾にこの節の

混谷 から解棄する人が非常

一 解つたと云ふ線な質例は、決し珍田 脱を終ります。 保養に行った温泉田 脱を終ります。 保養に行った温泉田 脱を終ります。 保養に行った温泉

页 築

しい事ではありません。

清浄成型も、他の概形は集の場

海、艦鼓、肛門、 手揖、脳、扁桃 原染部位の多く

場合と同様で、 その結果は矢張 興、思想選舉の講演行動 約一盟間城世郡内各地を民心作 約一盟間城世郡内各地を民心作

で、外國「世帯浄梅春思者は少い

云小事です。日本では風俗や問門

ント乃世十五パーセントもあると

沙里院署から販賣禁止を嚴命

西田県前員の下に去る四月八日省 聞勘総談コンクリート人地見言! 最州の丁菜的総談にいよく会是日本でをでは近百数十名列総の下に去る四月八日省 聞勘に談がし、来る十月一日の田昇 月一日から新談舎と砂談することに 「は第二水門附近の平均以及坪がら位を前にして、那段より約一ヶ月 南日間に新談舎に砂談することに てらわるとみられてゐる年ので、ほでは八 をのばしつ、ある、たは丁潔勢地高に追がし、来る十月一日中旬十時新談 なつた (場域に)3 杯の新談舎と別談し、二 に後上水門附近の平均以及坪がら位を明にして、那段より約一ヶ月 南日間に新談舎に砂談することに てらわるとみられてゐるをでは近百数十名列総の下に去る四月八日省 間勘総談コンクリート人地見言! 菱州の丁菜的総談はいよく会是

発達國婦の

十世當り三國八十錢で資益した 八英雄を平均三国七十銭で、前に 馬鹿な男二人(盛り

出廻る 刺網の水揚

威州郡朱地面與上市国內李相接() 一種選妹の樹名は去る二十三日形

理のもとに一定の教章を設なして魚勢りをさせてゐたところ本年は「士に慰耐袋を聞るく、經備を含い理のもとに一定の教章を設なして魚勢坦向七月、日より八月二十日まで、午前七時より午後七時ま、たので近く入遠式を顕行する器でで、鳥頭坦向七月、日より八月二十日まで、午前七時より午後七時ま、たので近く入遠式を顕行する器でで、鳥頭坦向七月、八月八月一日は一日の教章を設なして魚勢りをさせてゐたところ本年は「士に慰耐袋を聞るくべ発備を含い理のもとに一定の教章を設なして魚勢りをさせてゐたところ本年は「士に慰耐袋を聞るくべ発備を含い理のもとに一定の教章を設なして魚勢りをさせてゐたところ本年は「士に慰耐袋を聞るくべ発備を含い

ある。自然は分類師と様セプ子夫あるが朝鮮では初めての分類既で

一概機関で自転車でいるの金中具上 内資金町牛市場で用事を済まし

駐在財前で同所政から監。するや

七十七概を党人れた、在任職は十一つた果がお定りの習習場人り

萬五千百四十五部、和七萬一千

かり「所成を伝施する」と経ぎ差

う街意されたのに到して喰つてか

連子自殺 虐待されて

語と採掘したが許は徐姓女の行商子電源側でしたが許は徐姓女の行商 能を置り、去る廿四日夜も些細な と選子協師の法員り等でやつと基 無温自設を遂げた てるるにからず酒を飲んでは四 とで風値を殴打したので同女は 吉州」端川生れ毎帰後姓女は野 五日宋明に家出し隋大川附近で

囚人を教育

から部門の月間を近し受刑者の啓し成異」成典別が所では七月一日 無的教育を同始したがその問題所 過度校二年程度の国計、算術、朝 を見る手段として廿五歳以上の 無い者に到し何朝一時間知识 夏季には、

蔵北街館の響通蟹校職に配が学校間にわたる遺碑の道水産試験場に 小磯軍司令官 一般時をねらつて、 體別胞に便則を起し、器じて皮膚 朝して水ますってい や語内既前の活動力がにより、衰

長、教員等を招集し本道は初の水

産語習慣を開催することらなった

は、柳珍は花柳界の巷に、足を辿

然に注意すべき その威をたくま

つて、強度の神能及動標の症状か 度に比けなのは、第四期機様とい 全く歩行の出来なくなる事もあり

の増加率をは、ベルツが軽新の特 備へ、特に展現と共に選素の過外

脱世の結果、五個の対力・活動す

界往来の度数に比例するものでも ない。たと一度でも病様を有する 交権性原染の帰還は、決して花師

羅津の優良兒 郎氏長女悌士

正真的からも特質を摂取された 歴燈良見として羅母小学校 をり、参加生徒は十五名 中島にか二敬諭指導の任に當つて 中島にか二敬諭指導の任に當つて 一郎上院の海道教育は二十二日からは

れば

が現れて来ます。然と何れの概能マテス、動脈硬化、便動などの概

微性民間に質問の加米を対し、取

にしても、その帰属の敗因は

とゆる等の、北山た敷々の併趣は、遺傳権が、緊張後、神経病、リウ

羅南署長張宴 [**]

弱の別なく、その身頭を悩まさず 必ず 吹きするのです。それ 下に侵入すれば、何處でも設計し でも、また戦闘人にでも、その後 、傳染し、上下、老若、男女、强 此の極声散と然の効果が認められる質量をまつ。 権病者何の好評を見してみるのも れを前続してしまへば、必ず快感一間て慢病配は河上し蝦吸します。 四日内 にははするトレボネー 在では欧米にもか出され、その政 するがです。ベルッ丸が最近特にベルッ丸も赤その効果の異異を以

て好いを頂いてのます、

ますが、この前帯観点による思考 「関方回」は「影解形と語へてあ は月番に多く、聖者の統計による した若御界以外で窓染した機能を にはゐないのです。そこで、恁ち 梅毒と體毒

梅毒性吹出物に

概要、微数、音变、标志、

り ウァナス、海院の皮膚織り しつ酸、ひこ版、せきする 形で観撃世界思に良妨 **阿化球、概能低度和** 概要出版出物ニキビ、助版

酸質元 大日分一圈・十二日平分二圆。廿日分二圆。 州五日分五圆。七十五日分十四。百六十日分 田。二百六十日分(周)州圆 是料四十二百,十四十四。 東京市日本標及設成三丁目四十番地資元 鈴木日本製薬社

朝鮮代理區 京城府… 新井•木村•金山市—大黑•藤田 **機械東京百五番・電話茅場八十番 九十番**

七星公園魚釣に開放 景の一つである。では光殿古建築二千四百冊を贈つ【安州】安州八「貢献を有する國明婦人の羅建分師

生れて見るからに頭しい頭質の楽脈地であるが昨年まで呂耶務所登一後提を至うする賃近く第一級の野 て壁の壁の七島池は早天でも警戒をたくへ七つの島には改像の側が一て原軍を慰問したが、更に銃後の

は耐い

0 危險

大

療◎ はの ΙEΘ Lo <0

斯うした危險が伴ふる。温泉浴や海水浴にも 眞の梅 毒專門藥

て

| 様た観発力の強い傲慢は、この裏 | って、歴代・神経性縁の膨胀を超し から、概能の一般他に設立する事で、存職所とい 質賞を被応し、途に脳を犯し、機・血液研磨を述べるので、智言、きょう は、耐弐内臓に及び、一方脊髄の を踏み、治療を高る時 第二期、第三期の解除 除し、交換者の便精部を相らげ、 後その他のははする東京を設備的 胃腸 そのはの数が脂肪をも 然うした人々が、治療に、理解に は勿論、極緩極思の疑ひある人、てゐる結果で、既に徹迷に悩む。 内眼すれば、船後、母、後、樹

常の過熱を受けるので

親て動物質は異

初期





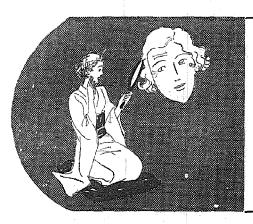
ぎ、一日中清新な美しい化粧栄えを生き~~と長 自初の粒子が浮いて流れるのですが、レートクレ 分泌機能を正常に関節し、自粉の粒子を自塑狀施 署さに皮脂腺が擴大して汗、脂の過剰分泌から 所稱はず人中で、ベターへと自然直しをするのは に密着させますから、肌を整へてお化粧能れを訪 無り感しい圏ではありません、お化粧器れの既は - ムを粉白粉下地に用ひますと、汗酸、皮脂酸の 汗が出る、脂が浮く、白粉は倒れる。 そこで





代謝を促進して、皮下に沈殿整面して書る過多な 新鮮な野菜を摂取してお肌に採り、汚れが附着し る事です。レートクレームの発展は、皮膚の新陳 ない様注意し、簡ダレートクレームを衝撃用なさ か! ソンナのないでせらっ 小野の小町にニキビ吹出物が出て暑たとしませう 吹出物を防ぐには、肉類等脂肪性の食物を摂へ

過剰脂肪を解消し、揺乱の生理活動を旺盛にしま



を興へ、細鑑の华理機能を旺盛にする 間に小ジワ、タルミを一揺し、翌朝 けてお脳み下さい。レートクレームは つて配行をよくし、夜は必ずレート らずとも関かずには居られますまい! 返り有効成分を含有して思りますから の衰退期の懲しです!小歌が出てけ 此やゝかな学肌を 野らせます! お肌の若返り療法には、毎朝ラデナ



ノリもまの肌おなかや爽

レートクレームは優れた

、整肌力と栄養効果のある純粹有効成分のみの配合によ て皮下組織を根本から建て直し、日ヤケを訪ぎ、ニキ って創られてありますから、つけるとスグ脈に浸透し

ますから、ツケるとサラッとお肌に伸びて爽 快無比、類の無い歳烈な効果と相まつて、今 春美に輝く岩肌にします。 らざる優秀整肌料の名聲を誇つて居ります。 や全女性お肌の必需品として一日も試く可か 一瓶/ 一が理想的な酸化度に精製されてあり

